

質問4 所属する学会について <複数回答可> (その他)

その他記述	件数
The American Chemical Society, 日本化学会, 日本蛋白質科学会	1
獣医学会	1
植物学会	1
痛風核酸代謝学会・レビー小体型認知症研究会	1
日本RNA学会、日本核酸医薬学会、日本薬学会	1
日本バイオインフォマティクス学会	1
日本遺伝学会、日本農芸化学会	1
日本化学会、農芸化学会、ペプチド学会	1
日本外科学会、日本内科学会、日本救急医学会、日本炎症再生医学会、日本運動生理学学会、日本体力医学会、日本抗加齢学会など	1
日本環境変異原学会	1
日本骨代謝学会	1
日本神経化学会、日本プロテオーム学会、日本電気泳動学会、	1
日本進化学会	1
日本生物工学会、ACS、NYAS	1
日本組織適合性学会、日本DNA多型学会	1
日本蛋白質科学会	1
日本動物学会	1
日本農芸化学会、日本栄養・食糧学会	1
日本農芸化学会、日本食品免疫学会、日本プロテオーム学会、日本ミトコンドリア学会、日本エピジェネティクス研究会	1
日本法医学会	1
日本麻酔科学会	1
日本麻酔科学会 日本集中治療学会	1
日本薬学会	1
日本薬学会、日本動物細胞工学会	1
日本臨床衛生検査技師会、日本臨床微生物学会	1
無所属	1

質問5. プログラム集冊子のA5判形態について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	A5サイズはとても良かった。内容も十分だった。残念ながら重かった。紙の材質をもっと軽いものにしてほしい。
※	冊子は不要だが、事前にプログラム&アブストがネット経由で入手できる必要がある。参加登録しないと入手できないのは明らかに片手落ち。せめて学会員はアクセスできるべき。
※	目次にはレイトブレッキングも含めるように。プログラムの数字は順序とおりだが、アルファベットでは、PL, S, W, T, Pの順で、PLは別格としても、シンポジウムはワークショップより上位、次は口頭発表、ポスターは最低の価値しかないような印象を与える。余計な思惑を排して発表価値に軽重をつけないよう、単純にアルファベット順にすべき、と毎回思う。その方がプログラムも探しやすい。

質問6. ITシステムについて <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	基本機能である「プログラム検索・要旨閲覧」は、全く使えなかった。
※	サーバがLS予約の時点で対応が遅かった。
※	使っていない
※	会場ナビ機能がいきなり特定の部屋を示されてもいったいどの建物なのか分からなくて困った。基本機能である「プログラム検索・要旨閲覧」をもっと検索しやすくclickで横断的に見られるようにしてほしい。関連演題を教えてくれる機能が欲しい
※	使いませんでした。
※	Wifiが全ての会場で使えない、使えても強度が弱く、折角のITサービスが、十分に生かせていなかった
※	大会終了後でよいので、大会への参加登録をしなかった学会員が大会の発表要旨に無料でアクセスできるようになると、発表内容を会員間でより広く共有できるようになり、研究成果の交流・周知という点で有益であると思いますので、将来そういったことが可能になるとよいと思います。 もともと、学会大会の発表内容要旨は、例をあげれば生化学会でも、学会員全員が学会誌の増刊号という形で受け取っており、学会員全員が発表要旨にアクセス可能でした。
※	特に興味はなかった。
※	アプリが使用できない参加者に対する代替手段が無く、大いに不満。選択した物だけでなく、全ての要旨をPDFとしてダウンロードすることはできず、大会の記録が残せず困っている。

質問7. 会期中に使用された主なITシステムについて（その他）

回答者 番号	記述
	記述なし

質問8. シンポジウムと特別講演について <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
	記述なし

質問8. シンポジウムと特別講演について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	シンポジウムについて、一部を除いて殆ど日本人が発表しているので、日本語での発表が良かったと思う。英会話教室でもないのに英語の必要性は無いと思う。英語が綺麗で流暢なら聞きやすいがぎくしゃくした英語は朝一聴きづらい。
※	プレナリーレクチャー、パイオニアズレクチャーは、現在のようなものを続けるなら、無くした方が良い。
※	主要著者である5報の論文の画像について匿名掲示板で疑義が示されたばかりの方を講演者に選ぶのはいかがなものか。そのことはマスコミで報道されているのである。そのことについての説明がまずあるべきではないか。これでは、少なくとも世間一般から見れば、〇〇〇さんが講演しているようなものである。

質問9. ワークショップについて（その他）

回答者 番号	その他記述
※	テーマ・セッション数ともに大部少なくなったと思う
※	ポスターのみで口演させないのは不公平である。
※	今回合同大会だったせいか、テーマが多すぎて、重複して聞きたいものがあった。
※	時間を少し短くして、例えば午前中でも2回開催されるくらいであれば、参加の自由度が上がると感じた。現状では重なって諦めることが多すぎる。

質問10. 一般演題について <複数回答可>(その他)

回答者 番号	その他記述
※	一般口頭発表はポスター発表日と同日が望ましい。
※	希望者には口演させるのが筋である。そのためにはワークショップは短縮して皆に機会を与えるべきである。そもそもワークショップは一部のものの独占欲のかたまりであり、関心のないものには無駄なことである。こういうものは自分達で研究会をひらいて関心のあるものだけでやれば良い。 いろんな研究や地味な研究を尊重して口頭発表させるべきである。即ち多様性を尊重してほしい。一部の教授の好みに合わせるべきではない。
※	ポスターセッションの時間をもう少し早めて欲しかった。終わりが19時前は少し遅い。

質問11. BMB2015特別企画について、良かったと思うもの <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	細胞から宇宙まで持っていく、そのバイタリティがめっちゃ好きです！ほんとに知りたい内容を漏らさず見せていただいて、たいへん勉強になりました。
※	ワークショップ、ポスターで目一杯で残念ながら参加する気力がなかった。

質問12. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナーについて（その他）

回答者 番号	その他記述
※	今回は会場に少し活気がなかったように思えた。

質問13. 「製薬・創薬面談ブース」について（その他）

回答者 番号	その他記述
	記述なし

質問14. 本大会の規模について（その他）

回答者 番号	その他記述
※	すごいと思います！もっと盛り上げなければ、ですね。
※	年を追って縮小していないですか？ 対策が必要では？
※	参加者数は多人数だと思うが、それだけ人が集まるのであるから、その状態で運営していいと思う。
※	4日間は長すぎる。3日間に入るプログラムが望ましい。4日必要だとしても、初日は午後から、最終日は13時に終わってほしい。
※	不参加に付き、判断しかねます。

質問15. 本年の開催形式(合同大会)について (その他)

回答者 番号	その他記述
※	二つの年会に参加する余力はなく、その意味ではありがたいが、一方ではもう少し人数が少なければ、プログラムにも余裕が生まれるのだろうか?とも思われ難しいところである。

質問16. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (合同開催が可能な学会にはどのような学会がありますか)

回答者 番号	合同開催が可能な学会にはどのような学会がありますか記述
	記述なし

質問16. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	盛会だっただけに開催が時期的に遅かったのは惜しい。ポスターの発表が日没になっていた。せめて1ヶ月早くすべき。
※	合同にする目的とその対策が練られてないように思えた。結果、1+1<2となっている印象。
※	とにかく学会が大きすぎる。4日間でシンポジウムとワークショップ160セッションのうち、8つしか聞けないのは問題である。ポスターは多すぎて見る時間もない。
※	創薬シンポジウムなど特別講演などは聴衆者が満杯で、席が取れず疲れる聴講であった。テーマにより会場の規模には十分に配慮して欲しい。
※	分子生物学会と生化学会は、研究対象は大きく重なっているので合同開催も意味はある。しかし、会の規模がおおきすぎ、一方、研究の立脚点が異なるので、やはり、単独開催を考えた方がよい。もし、合同開催を続けるならば、学会の統合を図った方がまし。
※	生化学会と分子生物学会というテーマの重複する学会がなぜ別々に存在するのか？国際機関ではIUBMBのようにBiochemとMolecular Biolは統合されている。日本独自のシステムの意義が理解できない。

質問17. 会員懇親会の開催について（その他）

回答者 番号	その他記述
※	分子生物学会は会員懇親会を開かないのが伝統である。しかし主催者など限られたメンバーでの懇親会を開いているという話しが漏れており、不快感を持つ会員も少なからずいる。一方、生化学会は例年、年代、組織、分野を越えた人の交流のために懇親会を開いている。合同開催でも、生化学会主催で懇親会を開いてはどうか。

質問18. その他、大会運営全般についてのご意見

回答者 番号	意見記述
※	今までの学会の中でも、午前と午後の始まりの時間など、私は地元の開業医ですが、本当にありがたかったです。午前仕事しても、ちゃんと午後のセッションに間に合ったので。ありそうで、なかった時間取りだと思いました。内容も、最高でした。とても勉強になりました。ただただ、感謝申し上げます。神戸市北区 ○○内科 △△△△
※	開催時期について、会員の希望をとって検討していただけると参加できるかもしれません。少なくとも私のいる地方の小さな短大では、今回のような12月初旬というのは、参加するのが困難です。
※	スマホは携帯しているが、このような状況では、使わない様にしており、もっぱら冊子体とノートPCを用いている。プログラム冊子の編成が悪く、知りたい情報に到達するのに苦労した。これほど不便を感じた記憶は、最近国内海外では珍しい(学会参加歴、1971年より。1990年頃から、国内学会年数回、海外毎年参加)。WIFIアクセスが出来ない場所が多く、展示会場WIFI席でもアクセス出来ない時もあった(Windows7)。会場は足を使い時間いっぱい参加したつもりであるが、フォーカスと熱気が見えず、漫然と慣例としてやっている学会との印象を受けた。日本のバイオ研究が低調化しているのかもしれない。
※	WiFi のパスワードなどが会場によって異なっている場合があるにもかかわらず、そのあたりの状況説明がまったく見当たらず、試行錯誤することになりました。結局、大会の案内所でパスワードなどを記した付箋紙を渡されました(ポートピアホテル)。このあたりの案内はきちんとわかるように会場に掲示して頂きたかったです。参加者に時間の無駄を強いることとなります。
※	参加したセッションの進行がずれ込んでいた。チェアパーソン、発表者共に時間内に終わるよう練習してくるべき。チェア担当者はもっと予習すべし、特に発表者の名前間違いは失礼である、事前に問い合わせるべき。年配者の発表に見受けられがちだが特別講演あるいは招待講演と錯覚していることがままある。要点を時間内に発表すべき。LSでweb予約参加者と当日参加希望者がもめていた。弁当配布担当者が気の毒だった。どちらか一方に統一すべき。
※	高校生のポスター発表は良い企画と思った。ワークショップの企画が若手中心で良かったが、討論が今ひとつ活発ではなかった印象がある。
※	ランチョンセミナーの当日券配布について、事前に告知された時刻よりも前にすでに配布が終了しており、聞きたい講演の開始時刻まで長時間並ぶ必要があった。以前のような朝整理券配布を行うほうが混乱が少なくて良いのではないかと思います。
※	ガチ議論に参加しました。議論内容がまとまらず、消化不良状態でした。最低でも、予定の時間を厳守するべきだと思います。
※	ランチョンのシステムは再考して欲しい。学会の巨大化は弊害が多すぎる。
※	会期は3日まで程が良いと思います。4日は少し長く感じました。また聞きたい講演が、会場がいっぱいで入れないこともあったのが残念でした。
※	お疲れ様でした。ためになる学会をありがとうございました。
※	以前あったジャズセッションやアートコーナーは癒し、気分転換の意味もあり大変良かったと思うのだが。
※	ランチョンセミナー事前予約が受付開始すぐにアクセス多くてつながらないまま、すべて埋まってしまった。抽選制に変更するべきと思います。
※	これだけ多くの方々がそれぞれの分野で働き研究にはげみそれを広くうけて大会運営をされたみなさんの労力に感心します、自身の勉学に課していきたい思います。
※	日本生化学会奨励賞受賞講演にも質問のチャンスが欲しい。講演終了後の質問、コメントで、「素晴らしい発表をありがとうございました」とか、本質に関わらない前置きをやめるよう、会員を教育できないのか？質疑応答の時間は短く、予定通りプログラムを進めるためにも、無意味な発言はやめさせてほしい。このような発言者はよほど自分がこの道の権威で「ほめてかわすぞ」という気分なのだろうか？最初に座長が注意喚起すればよい。
※	生化学会の電子化システムの使い勝手が悪く、学会への親近感が薄れています。
※	連日終了時間が遅く、参加に苦労するので、早く終わる日も作って欲しい。